

事業評価表（令和5年度（3年目）実績分）

事業名	経営発達支援計画	カテゴリ	地域活性	主担当者	山口・重岡
事業期間	令和5年4月1日～令和6年3月31日	評価委員会実施日	開始	R5. 7. 18	最終 R6. 2. 19

（1）事業計画（PLAN）及び実施（DO）

事業概要	<ul style="list-style-type: none"> ・地域内の有力な観光資源である長崎街道内野宿場町並みを地域内外へPRする。 ・地域経済活性化に向けた新たな地域イベントを開催する。 	活動・手段	<ul style="list-style-type: none"> ・飯塚市、農協、観光協会等外部団体と連携し新たな地域イベントの開催を実現する。 ・飯塚市、観光協会、飯塚商工会議所と密に情報交換を行うことで幅広い周知活動を行う。 			
目的	外部機関と多面的な情報交換を行い小規模事業者へ情報提供することを目的とする。また、地域外への観光PRは新たなイベントを開催し地域への観光客流入、地域商業の消費増加を目指す。					
成果指標	指標の名称	単位・式	5年度	中間	最終	
	・新たな地域イベントの開催	集客数	目標	5000		
			実績		6117	
			達成率		122%	
	・観光に関する4者会議（飯塚市観光客呼び込み）の開催		目標			
			実績			年12回
			達成率			
			目標			
			実績			
			達成率			
		目標				
		実績				
		達成率				

（2）事業費等の推移・内訳

財源内訳	予算額	決算額	摘要	特記事項
国庫補助金	0	0		
一般財源	0	0		
合計	0	0		

（3）定性評価（A 100%以上 B 70～100%未満 C 70%未満）

事業分析 《担当者（チーム）評価》	
事業を取り巻く環境の変化	<p style="font-size: small; color: blue;">（消費者ニーズ、国・県・市の動向など）</p> アフターコロナでイベントも通常開催が目立つようになったが生活スタイルの変化で依然として影響がある業種もある。
事業の進捗状況	<p style="text-align: center;">判定 B A：計画通り進捗した B：概ね進捗した C：進捗しなかった</p> <p style="font-size: small; color: blue;">（その理由、執行上発生した問題点など）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・飯塚市、飯塚商工会議所、観光協会と観光に関する四者会議を月1回実施し情報交換を行った。 ・これまでのイベントを統合し新たなイベント（liフェスティバル）をイオン穂波店の敷地内で開催した。
事業の成果	<p style="text-align: center;">B A：目的を達成した B：概ね達成した C：達成できなかった</p> <p style="font-size: small; color: blue;">（その根拠、理由）</p> 新たなイベントはこれまでのイベントに比べ地域内外から幅広い層の来場者があったことから小規模事業者のPRの場としての効果が高かったと感じている。

（4）評価（CHECK）

評価項目	評価の観点	評価	事業分析《一次（中間）評価》
------	-------	----	----------------

①妥当性	商工会が事業として行う必要があるか	<input checked="" type="checkbox"/> ある <input type="checkbox"/> ない	商工会が主体となって行うには厳しいことが予想されるが他団体と連携していく必要がある
	特定の事業者に受益が偏ってないか	<input type="checkbox"/> 偏っている <input checked="" type="checkbox"/> 偏っていない	本事業は従来のイベントと違い自社商品・サービスのPRの場としても捉えられるため幅広い業種に対応していると言える
	地域商業の経営安定化と地域経済の好循環の拡大を推進するという目的に対する手段として適切か	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である <input type="checkbox"/> 適切ではない	本事業は地域経済活性化に資する取組と言える
②有効性	目的とおり期待される成果が得られたか	<input checked="" type="checkbox"/> 得られた <input type="checkbox"/> 得られなかった	来場者数も多く事業者の商品・サービスのPRに繋がった
	地域商業の経営安定化と地域経済の好循環の拡大を推進するという目的に対し貢献できたか	<input checked="" type="checkbox"/> 貢献できた <input type="checkbox"/> 貢献できなかった	
	次年度以降もこの事業の継続は必要あるか	<input checked="" type="checkbox"/> ある <input type="checkbox"/> ない	次年度以降も見直しを進め継続的に開催することで効果が増してくる
③効率性	利便性の向上や省力化を図る余地はないか	<input checked="" type="checkbox"/> ある <input type="checkbox"/> ない	
	事業のコストは適切か	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である <input type="checkbox"/> 適切ではない	商工会会計からの支出は無い
	類似事業や関連事業等、他に代わる事業はないか	<input type="checkbox"/> ある <input checked="" type="checkbox"/> ない	

事業分析 《二次（最終）評価》

事業結果に対する総評	<p>(進捗状況・事業成果等に対する総評)</p> <p>近年のコロナウイルスの影響で停滞していた事業であるが、本年度はアフターコロナでイベント開催も実施でき次年度以降に向け大きな一歩を踏み出すことができた</p>
方向性の判断	<p>(理由：事業の優先・重点化の必要性など)</p> <p>本事業は商工会単体では実施することが困難であるため他団体との連携により実施していくべきである</p>

(5) 改善・改革 (ACTION)

事業の方向性	判定 B A：継続 B：変更継続 C：休止 D：廃止 E：終了
事業の課題	<p>(事業実施上の課題等)</p> <p>近年の商工会の抱える業務量に比べマンパワーが不足しているのは明らかであるため開催に当たっては十分な予算の確保が必須である</p>
今後の取組／見直し案（活動・手法等）	<p>(上記の「事業の課題」に対する改善策又は事業の今後の方策等)</p> <p>イベントの内容から伴走型補助金の対象には該当しない可能性が高いため飯塚市との密な連携で予算確保に向けた動きをするのが肝要である。</p>
その他	